

ネット社会におけるヘイトスピーチ問題

1. ネット（SNS）と人権

ネット社会の拡大 → スマートフォンの普及・SNS利用者の増加

<ネット社会の問題>

- ・個人情報の漏洩
- ・偽情報の拡散（インフォデミック）
- ・炎上発言
- ・印象操作
- ・誹謗中傷

2. ヘイトスピーチとは？

「本邦の域外にある国又は地域の出身であることを理由として、本邦外出身者を地域社会から排除することを煽動する不当な差別的言動」

※ヘイトスピーチ解消法 第1章総則（定義）第2条

【典型例】

- ① 脅迫的言動
- ② 著しく侮蔑する言動
- ③ 地域社会から排除することを煽動する言動

3. 妙心寺派におけるヘイトスピーチ問題

<問題点>

- ① 偏った思想と人権意識 → 「個」の問題
- ② ネット社会が抱える闇 → 「社会」の問題
- ③ 表現の自由とヘイトスピーチ → 「法」の問題

－用語解説－

・MeToo 運動

「私も」を意味する MeToo は、今まで明らかにされなかった問題を公表することで、世の中を変える運動。主に性的被害（セクハラや性的暴行）を受けた人が SNS を通じて発信している。

・クラウドファンディング

群衆（Crowd）と資金調達（Funding）を組み合わせた造語で、インターネットを通じて不特定多数の人に資金提供を呼びかけ、その趣旨（事業）に賛同した人から資金を集める方法。

・BLM 運動（Black lives matter）

アフリカ系アメリカ人に対する警察の残虐行為をきっかけとして、アメリカで始まった人種差別抗議運動。

・インフォデミック

インターネットで噂やデマに類する大量の情報が氾濫し、現実社会に影響を及ぼす現象。

・印象操作

相手に与える情報を取捨選択したり、恣意的に伝えたり、受け取る印象を制御・操作すること。

・フェイクニュース

主にインターネットや SNS で発信・拡散される、真実ではない情報。

・ファクトチェック

情報や言説などが事実に基づいているかどうかを調べ、正確な情報を収集すること。

・表現の自由

日本国憲法第 21 条で保障される、個人が外部に対して自由に、思想・意見・主張・感情などを表現できる権利。報道・出版・放送・映画の自由なども含む。